

経営比較分析表（平成29年度決算）

石川県 七尾市

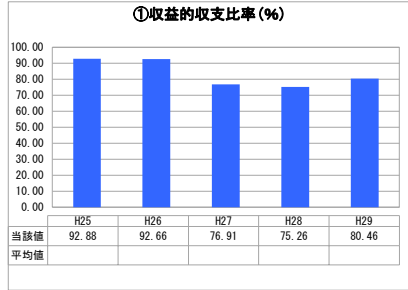
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
34.10	該当数値なし	4.19	100.00	2,880

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
53,927	318.29	169.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,239	47.26	47.38

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



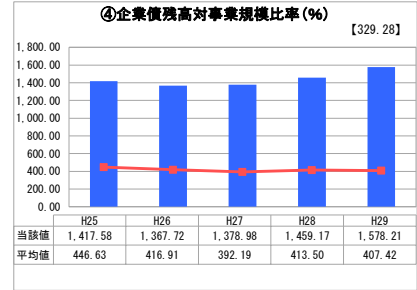
「単年度の収支」



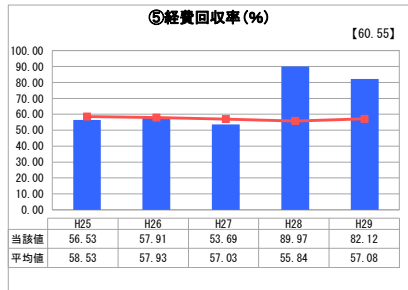
「累積欠損」



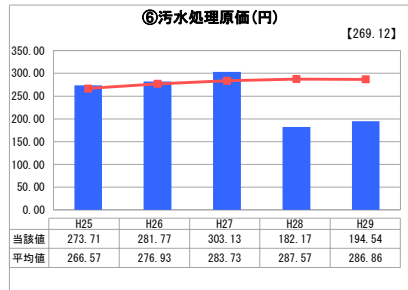
「支払能力」



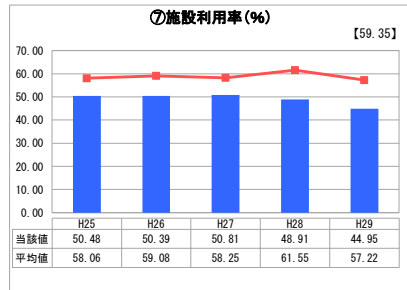
「債務残高」



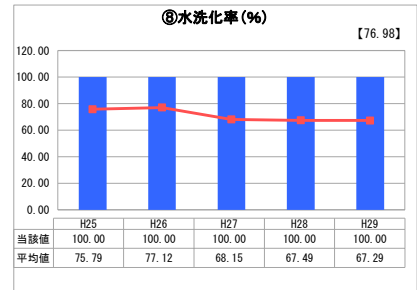
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

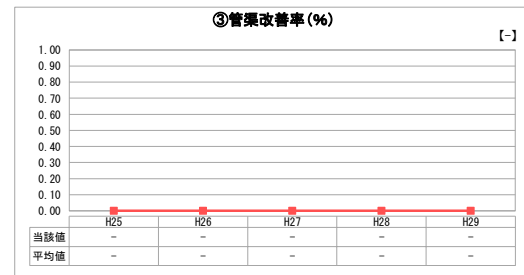
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

整備事業による浄化槽の新規設置により使用料収入は増加しているが、一方で管理基数の増加により維持管理費や整備事業に要した起債の償還額が増加していることから①収益的収支比率は、低下している。

④企業債残高対事業規模比率は、整備途中であることから使用料収入に対し事業投資に要した地方債の残高が大きく、類似団体と比較すると高い状況にある。

⑤経費回収率や⑥汚水処理原価については、平成28年度の分流式下水道に要する経費の見直し以降、数値の改善が見られるが、今後、経年劣化による修繕費や地方債償還費が増えることから数値の悪化が予想される。

⑦施設利用率は、流入量が少ないことから類似団体とくらべる低い状況である。

⑧水洗化率は、100%で推移している。

2. 老朽化の状況について

浄化槽躯体は、更新が必要な老朽化は見られないが、整備初期(平成15年度～平成17年度)に設置した浄化槽で機器設備類(プロローや排水ポンプなど)の修繕や更新が必要になっている。

全体総括

今後、整備事業に要した地方債の元利償還費や老朽化による浄化槽の更新費用が増加していくことが予想される。これらの費用の増加を見据え、過大な投資にならないよう適切な計画により整備を進め、維持管理費も含めた将来負担額の抑制により、経営の健全化に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。